

* リハビリテーションには、運動療法・物理療法・介護療法があります。

1. 物理療法：電気治療・光線治療・温熱療法など、機械的な力を利用して、痛みやしびれの緩和・リラクゼーション・筋収縮の促進・浮腫や循環の改善などを図ります。
2. 運動療法：疾患に応じて、筋力強化・関節可動域改善・持久力増強・筋緊張調整などの方法を利用して、障害や疾患の症状の改善や予防を図ります。
3. 介護療法：医療のリハビリは機能回復を目的としていますが、介護のリハビリは機能維持を目的にしております。
当院では通いで行う、通所リハビリ（デイケア）を行っております。

運動療法（個別リハビリ）には、実施日数が決まっています。

疾患別標準的リハビリテーション実施日数

	運動器疾患	脳血管疾患
実施可能日数 (発症日から)	150日	180日

* 運動器疾患とは：上・下肢の骨折、切断、体幹・上・下肢の外傷、関節の疾患など。疾患名は、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、肩腱板損傷、膝靭帯損傷、膝半月板損傷、腰部脊柱管狭窄症、頸椎・腰椎椎間板ヘルニア、変形性股・膝関節症、肩関節周囲炎、ロコモティブシンドロームなどです。骨粗鬆症の治療・予防も大切です。

* 脳血管疾患とは：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳腫瘍、脊髄損傷、多発性硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、高次脳機能障害などです。

- * リハビリテーションに関わる専門職は、医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などです。
- * リハビリテーションは医師の指示のもと、理学療法・作業療法・言語療法を実施します。
- * 当院では、国家資格を有する者が運動療法（個別リハビリ）に携わっております。
- * 実施可能日数内は、休まずに通院し個別のリハビリを行いましょう。
- * リハビリテーションは、筋力強化・関節可動域拡大・痛みの緩和などの効果が得られ、日常生活での安全・安心な寝起き・立つ・歩くなどの動作につながります。そして、パークゴルフ・趣味・お友達とのお買い物・家族との外出・旅行などの楽しみが広がります。
- * 個別リハビリテーションが終了しても、心身機能維持・向上や体力づくり、他者との交流、外出などの継続が必要です。介護保険サービスの通所リハビリテーションを利用しましょう。
- * 当院は、皆さまやご家族が、住み慣れたところで、安全・安心に、健康で、いきいきとした生活が送れるよう、医療・介護の提供を心がおります。

ご質問・ご相談は、いつでも、職員がお受けいたします

光洋いきいきクリニック

